平成 25 年 9 月吉日

# 岐阜県小児科医会 ·東濃小児科医会合同講演会

謹啓

時下、先生方におかれましては、ますますご清祥のことと存じます。

さて、この度　岐阜県小児科医会と東濃小児科医会の合同講演会を下記の要領にて開催することになりました。つきましてはご多用とは存じますが、万障お繰り合わせの上、御出席賜りますよう何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

岐阜県小児科医会　会長　加納　芳郎
東濃小児科医会　　会長　市原　邦彦

日時　：　平成 25 年 10 月 27 日（日）　13:00〜16:30
場所　：　恵那医師会館
　　　　　岐阜県中津川市茄子川 1683-180

13:00　製品紹介　「ロイコトリエン受容体拮抗剤の最近の話題」　　小野薬品工業株式会社

13:15　一般演題

１、肥厚性幽門狭窄症に対する臍 Sliding Window 法について
多治見市民病院　小児科　小田嶋　貴之先生

２、「早期診断出来た急性巣状細菌性腎炎の 2 例」
木沢記念病院　小児科　増江　道哉先生　山口　尊弘先生　若原　敦嗣先生
高田　勲矢先生、葛西　武司先生

３、「先天性第Ⅶ因子欠乏症の経験」
中津川市民病院　小児科　院長　安藤　秀男先生

14:15　コーヒーブレイク

14:30　特別講演

座長　中津川市民病院　院長　安藤秀男　先生

１『発達障害児の支援を長期的視点から考える
ー高機能 ASD 児の１０年間の追跡調査を通して』
山口大学教育学部　附属教育実践センター教授　木谷　秀勝　先生

２『アレルギーマーチからみた気管支喘息
A good beginning makes a good ending』
国立病院機構三重病院　副院長　藤澤　隆夫 先生

共催　岐阜県小児科医会
　　　東濃小児科医会
　　　小野薬品工業株式会社

※本講演会は小児科専門医単位（８単位）・日医生涯教育講座に該当する会として申請中です
※当日は、ご参加いただいた確認の為、御施設名・御芳名の記帳をお願い申し上げます

# 特別講演抄

「発達障害児の支援を長期的視点から考える　－高機能 ASD 児の１０年間の追跡調査を通して」

山口大学教育学部　附属教育実践センター教授　木谷　秀勝　先生

概要：発達障害児への地域支援に関して、小児科医療が果たす役割は重要さを増して来ている。特に、早期発見・早期対応の関するノウハウの向上は著しい。その一方で、発達障害児をもつ家族としては、早期からの対応に熱心になればなるほど、将来への不安が高まることがわかってきている。そこで、今回の表題にあるように、長期的な視点に基づく地域支援の方向性を理解することで、家族だけでなく、医療関係者も目標を焦点化しながらの対応を進めやすくなる。今回の講演では、演者が現在進めている高機能 ASD の１０年間の追跡調査のデータを提示しながら、検討を行うことを目的とする。同時に、長期的視点を明確にするための方法として、心理アセスメントの活用方法に関しても、症例を通して理解を深めたい。

「アレルギーマーチからみた気管支喘息

A good beginning makes a good ending」

国立病院機構三重病院 副院長　藤澤隆夫先生

1970 年代に馬場実先生が提唱された「アレルギーマーチ」は複雑な小児アレルギー疾患の自然歴を看破した画期的概念として、世界に認められ、その後の多くの疫学研究はこの概念を出発点として始まったと言っても過言ではない。さらに最近の研究では、「アレルギーマーチ」が単なる自然歴の記載ではなく、アレルギー疾患発症の病態と適切な治療・管理のあり方を内包するものであることも示唆されている。これを解明して、小児気管支喘息の治癒をめざすことこそが、馬場先生から私たちへ与えられた宿題ではないだろうか。

そこで、アレルギーマーチのコンテクストで小児気管支喘息を考えると、まずゴール、すなわち治癒をめざすこと、を確認すべきであろう。次に、「始まり」を良く理解して、適切な早期介入方法を見いだす努力を行っていく。good beginning は good ending を約束するのである。講演では始まりの病態における最近のトピックス(皮膚、上気道、感染)に触れるとともに、さまざまな早期介入に関して考えたい。